



老若男女、のびのびと絵が描ける空間
名古屋造形短期大学出身の山田さんは、卒業後10年会社員として働いた後、絵に関わる仕事がしたいと一念発起。1987年に自宅で絵画教室を始めました。油絵や水彩画のほか、工作も手がけます。生徒は小学生からお年寄りまで幅広く、その人自身の絵の魅力が引き出せるよう、背中を後押ししながら指導しています。「現代人は時間に余裕がなく、絵を描く時間が取りづらいと思います。絵画は1枚の作品を仕上げるまでに何ヶ月もかかったり、贅沢に時間を使うので、ゆっくり向き合うのがおすすめです」と山田さん。絵に興味のある方は訪ねてみてはいかがでしょうか。

講師の
山田 俊彦さん建物がキャンバス!
壁画のコンセプトは「みんなが集う場所に」

造形絵画教室 創
名古屋市南区道徳新町4-59
【お問い合わせ】TEL(052)691-3375
【営業時間】平日:8時~20時
※曜日によって異なります。詳しくはHPをご覧ください
<https://soh-kaiga.aichi.jp/>



理念

家族を想う気持ちを 大切にしたい

基本方針

1. 地域への貢献

私たちは24時間体制で地域住民が安心できる医療を提供できるよう努めます。

2. 選ばれる病院

私たちは一人ひとりが「山口病院の顔」であり、患者さんに「山口病院を選んで良かった」と思われる雰囲気づくりに努めます。

3. 向上心と信頼関係

私たちは常に向上心を持ち、お互いに尊敬し合い、信頼できる関係で、「和」の気持ちが「輪」の絆へと繋がるように努めます。

医療法人 山和会 山口病院

〒457-0836 名古屋市南区加福本通3-28

TEL 052-611-6561 (代) FAX 052-613-0333

名鉄：「大江駅」下車、南へ150m

市バス：新瑞橋13系統（左回り）／新瑞橋14系統「港東通」下車
神宮15系統「大江駅前」下車

<http://www.yamaguchi-hp.jp>



スマートフォンでも
ご覧ください



育児と仕事の両立には周囲のフォローが大切

入職して25年、職場の仲間に支えられてきました。高齢出産で早産の危険があり、妊娠中のお休みや、出産後も1年間育児休暇をいただきました。出勤時に「お子さん大丈夫?」という温かい言葉に励まされ、本当に感謝しています。子どもが小さいうちは行事や急な病気もあり、周囲の協力なしに仕事と両立するのは難しいと思います。職場の協力を得ながら、時短勤務や保育園などを活用して、仕事を長く続けていきたいです。

2才の
ママです!

看護師 飯田 美保子さん

表紙のご紹介

名古屋港ワイルドフラワーガーデン
ブルーボネット（名古屋市港区潮見町）

「ブルーボネット」とはアメリカ・テキサス州を代表する花のこと。欧米のデザイナーが手がけた庭園や開放的なサンハウスなど、季節ごとに、さまざまな美しい風景を楽しむことができます。



開園時間:9時半~17時(12月は16時)、月曜休
(祝日の場合は翌日)、入園料:大人300円

名古屋市港区潮見町42番地

TEL (052)613-1187

<http://www.wfg-bluebonnet.com/>

やまぐち

患者さまと病院をつなぐ広報誌

2019 Spring / Summer



身近な病気 第4回

感染症とワクチン

重篤症状を引き起こす
可能性のある「感染症」と
ワクチンでの予防について

ご自由にお持ち帰りください

第4回

身近な病気

感染症とワクチン

私たちはつねに細菌やウイルスにさらされており、いつ感染しても不思議ではなく、なかには重篤症状を引き起こすものも少なくありません。今回は、感染症と予防接種(ワクチン)について紹介します。

春から夏に気をつけたい「麻しん(はしか)」「風しん」「おたふく風邪」「みずぼうそう」

感染症とは、病原体(細菌、ウイルスなど)が体に侵入して、症状が出る病気のこと。感染経路として、主に「接触感染」「飛沫感染」「空気感染」「媒介感染」があります(下図参照)。病原体が侵入しても、症状が現れない人もいます。感染症となるかどうかは、感染力と体の抵抗力(免疫力)とのバランスで決まります。

身近な感染症として、冬に流行するインフルエンザがよく知られていますが、春から夏にかけては「麻しん(はしか)」「風しん」「おたふく風邪」「みずぼうそう」の患者数が増える傾向にあり、いっそ注意が必要です。なかでも「風しん」は、

2013年に大流行しました(14,344人)。その後、2017年まで減少傾向でしたが、2018年は2,917人と増加に転じ、2019年は3月時点ですでに1,000人を超える患者数が報告され、厚労省は警戒を呼びかけています。

風しんの感染力はインフルエンザよりも強く、インフルエンザが患者1人あたり約2~3人に感染するのに対し、風しんは約7~9人に感染します。妊娠初期に風しんに感染すると、生まれてくる赤ちゃんが目や耳、心臓に障害を抱える「先天性風しん症候群」になるおそれがあり、これから出産を予定している夫婦や妊婦の方は特に注意が必要です。

<身近な感染症が引き起こす重篤症状>

	重篤症状	感染力の強さ(人)*
麻しん(はしか)	肺炎、脳炎、中耳炎、心筋炎(急性期)など	16~21
風しん	血小板減少性紫斑病、脳炎、先天性風しん症候群など	7~9
おたふく風邪	脳炎、髄膜炎、難聴、肺炎、卵巣炎・精巣炎(不妊の原因になりうる)など	11~14
みずぼうそう	帯状疱疹後神経痛(慢性化)、眼付近の帯状疱疹で片目失明のリスクなど	8~10
インフルエンザ	肺炎、脳症など	2~3

* 1人の患者から何人に感染するか



感染源に接触することで感染
例:とびひ、梅毒、淋病、破傷風など



飛び散ったしぶきを吸い込むことで感染
例:インフルエンザ、風邪、百日咳など



空気中を漂う粒子を吸い込み感染
例:結核、風しん、みずぼうそうなど

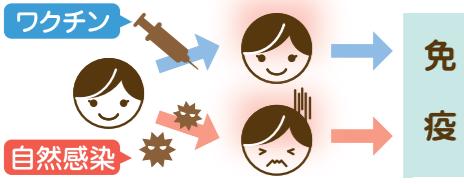


汚染された水、食品、昆虫などを介し感染
例:コレラ、食中毒、マラリアなど

ワクチンについて

ワクチンとは、あらかじめ病原性をなくしたり、弱くした病原体(細菌やウイルス)を体内に入れ、免疫をつくることで、病気を予防する方法です。自然感染よりも安全に免疫をつけることができます。

- ・重症化の危険性がほとんどない
- ・他人へ感染しない



- ・重症化の危険性が高い
- ・他人へ感染しやすい

山口病院で受けられる予防接種(ワクチン)

MRワクチン 麻しん・風しん 混合タイプ

名古屋市では、2019年から名古屋市在住かつ妊婦と同居する家族に任意で抗体検査を行っています。十分な抗体を持っていなかった場合、無料でワクチンの任意接種が受けられます。(一部の年齢の男性も無料)

肺炎球菌 ワクチン

65歳以上で名古屋市在住の方は4,000円の自己負担で任意接種できます。一度受けると5年は効果が持続するといわれます。

インフルエンザ ワクチン

予防接種によって重症化を防ぐことができます。
秋までに受けておきましょう。

詳しくは電話または受付でお尋ねください

高齢の方に多い「肺炎」

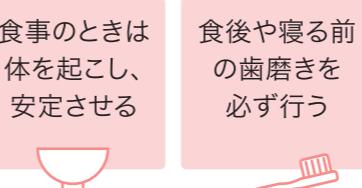
高齢の方が特に注意したい感染症のひとつが「肺炎」です。症状はせき、発熱、胸の痛み、息苦しさなど風邪に似ていますが、一度かかると長引くのが特徴です。風邪やインフルエンザにかかった後、肺炎にかかる可能性もあるため、外出時のマスク着用や、手洗い、うがいを徹底するほか、インフルエンザの予防接種を受けておくのも効果的です。肺炎の原因菌のひとつである「肺炎球菌」は、子どもの鼻やのどにすみ付きやすい菌で、飛沫感染に注意が必要です。2014年から肺炎球菌の定期予防接種がスタートし、一度受けければ5年は効果が持続するといわれています。

注意したい「誤嚥性(ごえんせい)肺炎」

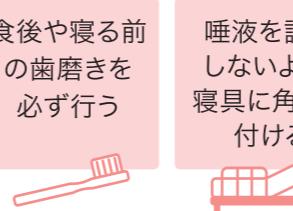
気管に食べ物や唾液などの異物が残ってしまうことで、そこに潜んでいた細菌が肺炎を引き起こすことを「誤嚥性肺炎」といい、お年寄りによく見られます。

誤嚥性肺炎を防ぐために-----

食事のときは
体を起こし、
安定させる



食後や寝る前
の歯磨きを
必ず行う



唾液を誤嚥
しないよう、
寝具に角度を
付ける

医師からメッセージ

予防接種を受けようと考えている方は、まずご自身の病気の罹患歴やワクチンの接種歴(可能であれば母子手帳のチェック)などをご両親に尋ねたり、調べてみたりすることをお勧めします。また、年齢に限りはありますが、今年度から風しんの抗体検査や予防接種に国の補助が下りるようになりました。分からぬ点がありましたらお気軽にご相談ください。

内科部長 吉川 武志



スタッフのご紹介



看護学生 伊藤 桜子

親に負担をかけたくない、自立するために生まれ育った長崎を出て、今は看護専門学校での学業と仕事を両立しながら働いています。人と話すのが大好きで、初対面の人ともすぐに打ち解けられる性格です。見学や実習を重ね、「伊藤さんに見てほしい」と患者さまに選ばれるような看護師を目指します! (2019年3月入職)



あやり
医療事務 栗崎 彩里

職場はアットホームな雰囲気で、部署間のコミュニケーションが活発なのが魅力です。先輩方はときに厳しく注意されることもありますが、いつも優しくしていただいている。当院は病気を抱えて不安な患者さまが多くいらっしゃいます。できるだけ不安を取り除けるよう親身に話を聞き、接することを心がけています。(2019年3月入職)

私のふるさと自慢

岐阜県下呂市編

13,000発の花火と街を練り歩く龍が圧巻 「下呂温泉まつり」

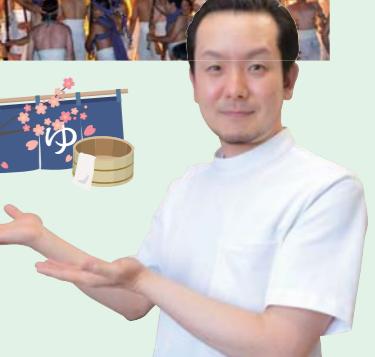
全国でも有数の温泉地である下呂で生まれ育ちました。飛騨川の河川敷に温泉が湧き出る「噴泉池」があり、よく友人と一緒に浸かっていました(笑)。下呂は温泉が有名ですが、8月1~4日に行われる「下呂温泉まつり」も街が活気づく一大イベントです。私は毎年参加していて、長さ20mもの龍を地元の同級生たちと一緒に担ぎ、街を練り歩きます。3日の「花火ミュージカル」では、音楽に合わせて13,000発の花火が打ち上がります。ぜひ見に来てください!



長さ20mもの龍が
舞い踊る姿は
迫力満点!



下呂といえば温泉。「噴泉池」など、街のいたるところで温泉に浸かることができます。



放射線技師
中島 光啓(なかしま みつよし)
【岐阜県下呂市出身】